

民生委員・児童委員 第16号

たが民児協だより

発行者 多賀町民生委員児童委員協議会
 事務局 「ふれあいの郷」内 福祉保健課
 TEL0749-48-8115 有線2-2021
 E-mail fukushi@town.taga.lg.jp

—いつもあなたのそばに・これからも地域のために—

多賀町では、若者の流出などによる人口減少に加え、少子高齢化が進み、65歳以上の高齢者人口は総人口の3割近くを占め、高齢者のひとり世帯や高齢者夫婦のみの世帯が増加しております。

また、家族関係や地域社会のつながりが希薄化する中で、子育てに関しても多くの課題が見受けられ、より充実した見守り体制が課題となってきました。

一方、社会福祉の需要が拡大、多様化する中で、民生委員児童委員が関わる問題も多様化、複雑化しており、委員個人の能力や努力だけでは解決できない問題も出てきています。

多賀町民生委員児童委員協議会では、毎月開催している定例会の中で、住民の方への支援活動や相談活動に伝えられるようにと、委員同士で情報や意見の交換を行い、各種研修会・学習会を開催して委員の資質向上に努めています。また、児童青少年部会、高齢者福祉部会、障がい者福祉部会の三部会を構成し、それぞれの部会で自主活動・研修事業に取り組んでいます。

民生委員児童委員は地域のみなさまとともに

多賀町民生委員児童委員協議会

会長 小財 豊信

子どもたちの健やかな成長を願った子育ての応援や、高齢者の方の見守り・お手伝い、また、障がいのある方との交流を深めるなどの取り組みを通して、人を思いやる気持ち、ともに生きることの大切さ、素晴らしさを肌で感じています。

隣近所、困ったときはお互いさまの気持ちで助け合える、誰もが幸せに安心して暮らし続けることができる地域づくりをめざして、私たち民生委員児童委員もつながり支えあう人の輪を育む担い手でありたいと思います。

こうした活動を行う上で、地域住民の皆さんや、関係機関・団体のご協力が必要不可欠です。お互いに手を携え、今後も地域の特性を生かした活動を展開していきたいと思っております。

町民の皆さんのご支援ご協力をよろしくお願いたします。



民生委員児童委員一斉改選の年です!

平成25年11月30日をもって、現在の民生委員児童委員の3年間の任期が満了します。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会づくりを推進していくため、活発な行動力と柔軟な指導力を有し、社会福祉に対する理解と熱意はもちろんのこと、地域の実情に精通し、民生委員児童委員として将来にわたって積極的な活動が行える人材が求められています。



広げよう 地域に根ざした 思いやり

多賀町の民生委員児童委員・主任児童委員を紹介します。

任期は平成25年11月30日まで

 南後谷 黒川 清子	 萱原 久保田 里美	 木曾・脇ヶ畑 蓮井 志津枝	多賀町の民生委員児童委員・主任児童委員を紹介しています。 任期は平成25年11月30日まで			
 大君ヶ畑 靈正 芳信	 大杉・樋田 山本 喜久代	 河内・靈仙 藤原 勇三				 久徳 小財 豊信
 主任児童委員(全域) 林 壽美子	 小原・霜ヶ原 辻田 四郎行	 藤原・後谷・向ヶ倉・甲頭・水谷・藤原 宮下 勇	 久徳 近藤 勇	 敏満寺 矢守 敏子	 多賀 小澤 禮子	
 主任児童委員(全域) 米谷 ふみ子	 佐目 東岸 良子	 川相 森 清美	 月之木 小財 惣九郎	 敏満寺 山口 勲	 多賀 森 輝満	
組織(役員)			 一ノ瀬 弘ヶ後 林 喜久雄	 栗栖 堂 美智子	 土田 平居 重次	 多賀 遠城 はつえ
			障がい者福祉部会長 児童青少年部会長 監会 副会 会 事計 長長	堂 森 森 辻 矢 小 坂 土 小 田 守 財 上 居 財	 藤瀬 辰野 紀美子	 一円 土居 正彦
 富之尾・榑崎 坂上 法子	 中川原 野村 惣蔵	 大岡・八重練 馬場 勝子	 美 輝 清 四 敏 惣 法 正 豊 智 満 美 行 子 郎 子 彦 信	 尼子 岸邊 次郎		

災害時ひとりも見逃さない運動の推進

民生委員児童委員になって

菅原担当 久保田 里美

民生委員児童委員を引き受け、早二年が経ちました。未曾有の大震災があり、『絆』という言葉が耳にしない日はなく、「ぎずな」を大切にすることが生まれました。家族、地域、お隣さん、どの絆もなくてはならないものだと思えます。

民生委員児童委員のキャッチフレーズ『広げよう地域に根ざした思いやり』を胸に頑張っているつもりですが、訪問活動などを通して、様々なことがわかるにしたい、奥深さを感じ、自分自身、何をどうしたいのかわからなくなること多々あります。

そこで、先輩の委員の皆さんや町福祉保健課に話を聞いていただき、何とか今日まで自分なりにやってみてこられました。

これからは少子高齢化が進み、独居世帯、あるいは高齢者夫婦のみの世帯が増加し、ますます見守り活動が必要不可欠になっていくことでしょう。

困ったときはお互い様の気持ちで助け合い、みなさんが安心して暮らせるよう、自分が地域の役に立ち、支え合う人の輪を育む担い手となるよう努力していきたいと思えます。

その笑顔が大好き

主任児童委員 林 壽美子

真新しい制服に身を包んだ新一年生。毎年、参加させていた、たく入園式や入学式は、桜の花のように華々しく輝いて見えます。

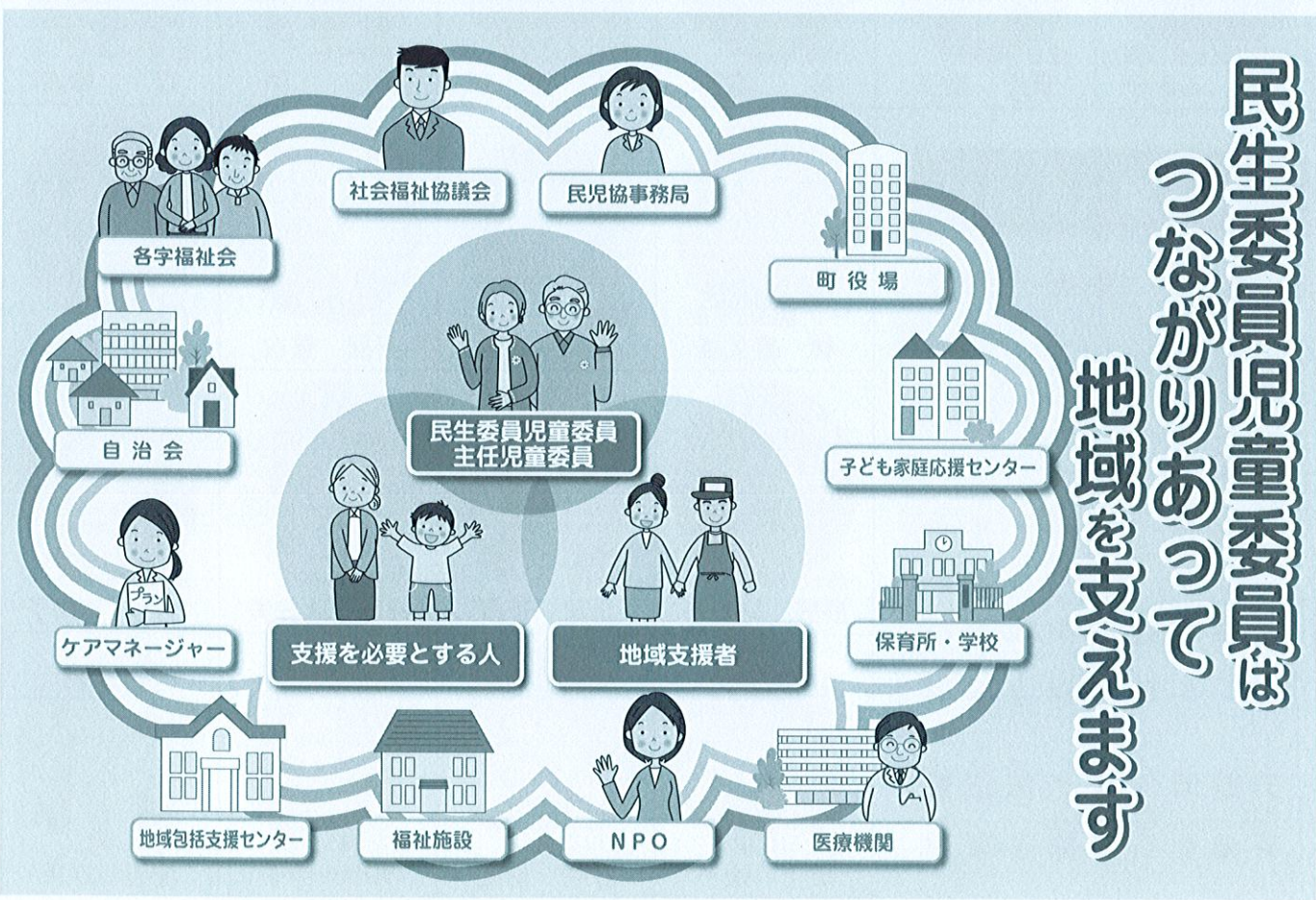
いつも登下校中にあいさつしてくれる子どもや、地域で走りまわり遊ぶ子どもの姿は見慣れていますが、卒業式や卒業式の姿は、一段と立派です。

卒業式では、あふれる涙をこらえながら「ありがとう」と感謝の言葉を述べるわが子を、両手を広げて優しく抱きしめられるご家族の姿に感動をもらっています。

卒業式では、先生、友だち、家族、地域の方々への感謝や、新たな決意の言葉も聞かれ、卒業生、在校生ともに立派に成長した姿を見せてくれます。

年々家族の出席も増えており、人生の節目にはこのような厳粛な時間も大切でしょう。

子どもたちから元気な明るい笑顔をもらい、地域のみなさんの見守りや声かけなど、様々な活動に助けられながら、私のできる限りの活動をさせていただきたいと思えます。



地域社会での孤立化をなくしましょう

見守り活動について

副会長 土居 正彦

みなさんは、近くに暮らしておられる高齢者の方の様子が、「気になる」「大丈夫かな」「心配だな」などと感じたことはありませんか。近年、多くの地域では高齢化が進み、ひとり暮らしの高齢者や、高齢者だけの世帯が増え、また、いろいろな事情で自分の力だけでは日常生活が困難な方がおられます。

生活環境も、以前にも増して核家族化、少子化が進み、近所づきあいもあまりない等、いろいろな問題が生じてきています。このことから、民生委員児童委員活動において、高齢者の見守り活動は重点的に取り組んでいます。

最近の情報通信分野の技術革新のスピードは速く、いろんな通信システム等を活用した緊急時に対応する通信サービスが電話会社や警備会社などから提供されています。他県では、高齢者の安否確認などにテレビ電話が導入されている地域もあります。訪問時刻を配慮しないで気軽に声かけや情報の伝達ができるなど、利点もあるようです。

こういった情報通信技術の発達により、私たちの日常生活は大変便利になりましたが、その反面、

一度きりの人生

敏満寺担当 山口 勲

近年、地域社会においては少子高齢化、核家族化と独居等が進み、家族関係や地域社会におけるつながりが薄れてきています。

このようなことから、住民同士が支えあい、安心して暮らせる地域づくりがより一層求められています。

民生委員は、お互いに支えあいながら、日常的に声かけや訪問など継続した無理のない見守りをするを通して、高齢になって住み慣れた地域で、長く安心して生活し続けられるようなまちをめざしていきたいと思えます。

地区の住民が、お互いに支えあいながら、日常的に声かけや訪問など継続した無理のない見守りをするを通して、高齢になって住み慣れた地域で、長く安心して生活し続けられるようなまちをめざしていきたいと思えます。

民生委員児童委員は、個人の人權尊重とプライバシー保護に配慮しながら、住民と関係機関とのつなぎ役として、民生委員法に基づき活動することとされています。

そのうえで、地域住民の生活状態の把握に努め、必要に応じて、福祉関係機関や委員相互と協議しながら相談援助活動等を行います。

担当地区での活動の一部として、高齢者を対象とした福祉サロンのスタッフとして参加しています。

介護予防体操の日を含めて、毎月三回の開催日には参加者の方々の和やかな話し声や、お手伝いしていただく各種団体の方々との交流など、私自身も楽しみながら元気をいただいています。

「歳月人を持たず」年月は自分の気持ちと関係なしに過ぎ去り、坂道を下るような速さで歳を重ねているように感じます。一度きりの人生となれば、今日一日を大切に、前向きに行動したいものです。今後ともご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

子育て支援活動

大杉・樋田担当 山本 喜久代

民生委員児童委員をお受けして今年で六年目を迎えました。最初は何もわからず、皆さんからいろいろご指導を受けながらやってこられたことに感謝しております。

私は、児童青少年部会の部会員の一人として活動しております。

近年、子どもや家庭を取り巻く環境の変化に伴い、いじめ、児童虐待や育児放棄など悲しい事件が多数報道されているのを目にするたびに何とも言えない気持ちになります。

子育て中のお父さんお母さんたちには、少なからず不安や迷いがあると思えます。

児童青少年部会では、子育て支援活動の一環として、毎年就学前の子どもさんを対象に子育てサロンを開催しており、親御さん同士の出会いやふれあいの場を設け、楽しい時間を過ごしていただいています。ご参加いただけていない方は、ぜひ、一度ご参加ください。お待ちしております。

少子化の現在、大切な子どもたちが健やかで元気に成長してくれるように、今後も地域で声をかけ、見守り続けたいと思えます。皆様のご協力をよろしく申し上げます。

地域社会から児童虐待をなくしましょう